



わかるかな？

右の①～④の写真は
何の生きものでしょうか？
名前と番号を線で結んで
みましょう。



▲城山のカタクリ

①	②	③	④
オオムラサキ	トウキョウサンショウウオ	キンラン	カワラノギク



関連する
単元だよ

- 3年 → 理科 ● 生き物をさがそう ● 花のかんさつ ● こん虫のかんさつ
- 4年 → 理科 ● 季節と生き物
- 5年 → 社会 ● わたしたちの生活と森林 ● 環境を守るわたしたち
- 6年 → 理科 ● 生物どうしのつながり

調べる

宇都宮の雑木林や水田・湿地、鬼怒川の河原にすむ生きものを調べましょう。



雑木林にすむ生きもの

宇都宮には、雑木林がたくさん残っています。雑木林には、多くの種類の生きものがすみ、たがいにかかり合って生きています。

雑木林には、どんな生きものがくらしているのかな？

雑木林は、人が手入れをしないと、ダメになってしまうと聞いたことがあるよ。

雑木林
コナラやクヌギを中心とした、さまざまな木が生えている人里近くの林。人の手がいった環境であることが特徴。



▲雑木林

3 宇都宮の生きもの

つかむ
宇都宮の生きものについて話合ってみましょう。

レッドデータブック **ことば**
絶滅のおそれのある野生の生きものをまとめた本です。

守ろう 豊かな自然

宇都宮には、山や川、林など豊かな自然環境が残され、たくさんの生きものがくらしています。しかし、この豊かな自然環境をこれからも守っていくためにはさまざまな問題があります。

宇都宮の生きものについてくわしく調べていきましょう。

宇都宮にもめずらしい生きものはいるのかな？

宇都宮のどういうところにどんな生きものがすんでいるのだろう？

学習問題

宇都宮にはどんな生きものがすんでいるのでしょうか。



1 コナラ・クヌギ

どんぐりが実る木。昔の人々は、切った木をたき木にしたり、落ち葉を肥料にしたりしていたので、人々の生活にとっても必要な木でした。

2 オオタカ (準絶滅危惧)*

林の中に巣をつくり、開けた草地でえさの鳥などをつかまえるオオタカにとって、雑木林と田畑が混在している里山は絶好のすみかです。

西荻部町のみずほの自然の森公園でオオタカの観察会があったよ。



▲オオタカ

3 オオムラサキ (要注目)*

日本の国蝶。幼虫はエノキの葉を食べ、成虫はコナラなどの樹液をえさとします。

茂原町にあるクリーンパーク茂原のえんとつには、オオムラサキがデザインされているよ。



▲オオムラサキ

*[レッドデータブックとちぎ2018]のカテゴリより



▲レッドデータとちぎWEB



▲カタクリ(上)とキンラン(下)



▲宇都宮市郊外の水田



▲ゲンジボタル
ホタルは水のきれいなところでしかくせません。



▲トウキョウサンショウウオ

4 カタクリ・キンラン (準絶滅危惧)*
草かりや落ち葉さらいなど手入れがいきとどいて
いる雑木林に生育する植物です。

新里町のろまんちっく村でカタクリがさいているのを見たよ。

水田・湿地にすむ生きもの

鬼怒川や田川などの水にうるおされ、宇都宮には水田がたくさんあります。それらの水田のため池や用水路もふくめた湿地の環境はとても豊かで、多くの生きものにとって貴重な生活の場となっています。

→ p.16 → p.33

宇都宮の湿地ってどこにあるのだろう？
どんな生きものがくらしているのかな？

水田がへっていると聞いたことがあるよ。

生きものたちは、だいじょうぶかな？

1 ホタル
自然豊かで水がきれいな宇都宮では、ホタルを観察できる場所があります。

→ p.30

ホタルは宇都宮のどこで観察できるのだろう？
どんな種類がいるのかな？

2 トウキョウサンショウウオ (絶滅危惧Ⅱ類*、市天然記念物)
全長8~13cmの両生類。春に湿地で卵を産み、夏から冬にかけては、近くの林の落ち葉の下でくらしています。

戸祭山緑地のトウキョウサンショウウオは宇都宮市の天然記念物に指定されているよ。

3 タガメ (準絶滅危惧)*
タガメは、カメムシの仲間です。肉食で、カエルやオタマジャクシなどを食べます。

タガメを見たよってお母さんに言ったら、場所は秘密にしておきなさいって。

みんながワアツておしかけてとられたりするとこまるからね。

4 ハッチョウトンボ (要注目*、市天然記念物)
成虫の大きさは17~21mmほどで、日本一小さなトンボとして知られ、世界的にも最小の部類。鶴田沼緑地に生息しています。

鬼怒川の河原にすむ生きもの

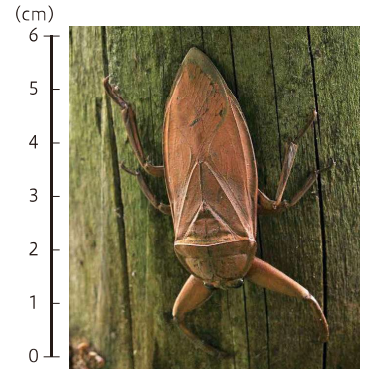
宇都宮を流れる鬼怒川の河原は、大きな石が転がる「れき河原」とよばれ、日本でも有数の面積をほこるたいへん貴重な環境です。

鬼怒川の河原にはどんな生きものがくらしているのかな？

川の水があふれないように、工事しているのを見たよ。

環境は変わってしまうのかな。

1 カワラノギク (絶滅危惧Ⅱ類)*
河原が増水しやすい場所に生える植物だよ。
川が整備されて、氾濫しにくくなったから、数がへってしまったんだって。



▲タガメ
タガメは、カメムシの仲間内で国内最大級です。



▲ハッチョウトンボ

ことば
れき河原
高温で乾燥し、増水のために冠水します。生きものにとってたいへん過酷な環境だからこそ、天敵や競争相手がいないという利点があり、その環境に適応した貴重な生きものたちがくらしています。



▲カワラノギク



▲コアジサシ



▲シルビアシジミ



▲ミヤコグサ

2 コアジサシ (絶滅危惧I類)*



石が多い河原に巣を作るんだよ。



数がかなりへっているんだって。



宇都宮市は、何か取り組みをしているのかな。

→ p.31

3 シルビアシジミ (絶滅危惧I類)*・ミヤコグサ



ミヤコグサがへっちゃったからそれを食べるシルビアシジミもへっちゃったんだって。



じゃあミヤコグサはどうしてへっちゃったの？



シナダレスズメガヤという外来種の植物がふえてしまったことが影響しているんだよ。

外来種問題

もともと生息していない地域に人間によって運ばれて放された生きものを外来種とよびます。外来種には、元からいる生きもの(在来種)にとって悪い影響をあたえてしまうものがたくさんいます。たとえば、外来種が在来種を食べたり、すみかをうばったりしています。



オオクチバス (特定外来生物)

オオクチバスは、他の魚などを食べる肉食魚で、元からいる魚類などの生息に悪影響をあたえます。

まちがった自然保護

どこかでとってきた生きものを別の場所に放すのは、自然保護ではありません。同じ種類の生きものでも、場所ごとにちがう特徴を持っていることがあるので、生きものに悪影響をあたえてしまうことがあります。

絶滅しそうな生きものを保護する活動は、その場所の特徴や別の生きもののくらし方などまでよく調べ、よく考えてから行わなければいけません。



ミナメダカ (絶滅危惧II類)*

日本産のメダカは、ミナメダカとキタノメダカの2種類に分けられ、宇都宮産はミナメダカにふくまれます。さらに、ミナメダカの中にも、地域ごとに遺伝的特徴が異なる集団があります。

まとめる

宇都宮の生きものについて調べたことをまとめてみましょう。



ワークシート

SDGsとの関連



	どんなところ？	生きものの種類
雑木林		
水田や湿地		
鬼怒川の河原		

問題点

ひるげる

宇都宮の生きものについて、考えてみましょう。



「豊かな自然を守るために、わたしたちにできること」

いろいろな生きものがくらししていくことのできる豊かな自然は、わたしたちの生活に深いつながりがあります。緑豊かな山やきれいな川など生きものがたくさんいる場所は、生きものにとってもわたしたちにとっても気持ちのいい場所です。

宇都宮の豊かな自然環境を未来に引きついでいくために、わたしたち一人ひとりにできる取り組みを考えてみましょう。

ほくにもできること、あるかな？





自然がいっぱいうつのみや

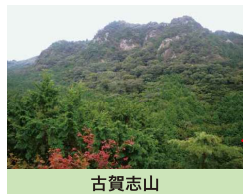


宇都宮の自然環境

宇都宮には、北西部から北東部に広がる古賀志山や羽黒山などの山地、東部を流れる鬼怒川、市街地に残されている戸祭山緑地、ため池と樹林地のある昔ながらの里山のすだたを残している鶴田沼緑地、市域全体の郊外に広がる水田などさまざまな自然環境があります。

宇都宮に生息する生きもの

宇都宮には、それぞれの地域に特徴のある自然環境があり、その地域の自然環境に合った生きものが生息しています。



古賀志山

標高582.8m
市内最高峰であり、岩場には貴重なツツジ類などがあります。



羽黒山

標高458.2m
山頂には羽黒山神社が鎮座し、ふもとの谷戸とともに、豊かな自然が残されています。



谷戸と羽黒山

北東部地域

地域の北側には羽黒山の樹林があり、中央の台地と鬼怒川ぞいには水田が広がっています。
南側の市街地には樹林が残っています。



スナヤツメ



フクロウ (幼鳥)



カワラノギク

北西部地域

地域の北側から北西側には古賀志山などの山地が広がり、スギ、ヒノキの林や、コナラ、アカマツの林が見られます。市街地の中にも樹林が残っており、河川ぞいには水田や草地が見られます。



エビネ



カジカ



マイコアカネ

中央地域

市街地の中にも樹林が残されており、地域の北東側には水田が広がっています。



ニホンカナヘビ



オオタカ



トウキョウサンショウウオ

東部地域

鬼怒川の河川敷にある樹林や草地と、川の周辺に広がる水田が広い面積をしています。
地域の東側の台地では、樹林と農地が入りまじっています。



コアジサシ



カジカガエル



ミヤマシジミ

南部地域

地域の西側から中央へ広がる台地にある市街地と、田川ぞいの水田が広い面積をしています。
市街地周辺の雑木林、田川ぞいの草地のほかに、湿地やため池が見られます。



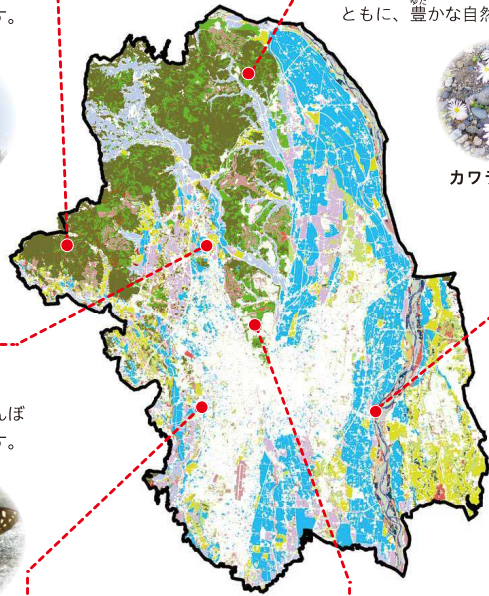
モートナイトトンボ



ヨコハマシジラガイ



ヒメナエ



サシバ



郊外に広がる水田

郊外には水田が広がり、田んぼに生息する生きものがいます。



オオムラサキ



カワラノギク



シルビアシジミ



鬼怒川

市東部を流れる一級河川であり、貴重な動植物など、河原には多くの生きものが生息しています。



モウセンゴケ



鶴田沼緑地

鶴田沼は、その形から「ひょうたん池」とよばれ、貴重な湿地性植物などが生育しています。



戸祭山緑地

戸祭山緑地は、競輪場通りの北側にある小高い丘陵地です。四季を通して植物が観察できます。

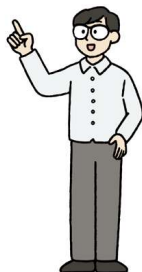
* 谷戸…丘陵地が侵食されて形成された谷状の地形。

※平成21・22年度宇都宮市自然環境基調調査より

ホタルのはなし



2種類の
ホタルは光り方が
ちがうんだね。

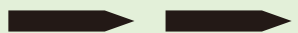


日本には約50種類ほどのホタルが生息していますが、宇都宮には7種類のホタルが生息しています。その7種類のうち、成虫が夜に光って飛ぶのはゲンジボタルとヘイケボタルだけです。

この2種類は、水ぎわのコケなどに卵を産み、

育った幼虫は、水の中で巻き貝を食べて育ちます。やがて、幼虫は陸の土の中にもぐってサナギになり、成虫となります。このように育つので、ホタルは水がきれいな水辺の環境でしか生きられないのです。

● ゲンジボタルの発光イメージ



ゲンジボタルの動画

※西日本に生息しているゲンジボタルです。

● ヘイケボタルの発光イメージ



ヘイケボタルの動画

宇都宮の名木・古木リスト

宇都宮には、見ていただけで心がすうっとするような名木や、古くから人々のくらしといっしょにあった古木がたくさんあります。これからもずっと守っていききたいですね。



智賀都神社のケヤキ
(徳次郎町)



下ヶ橋の三ツ股カヤ
(下ヶ橋町)



多気山持宝院社叢
(田下町) → p.15



旭町の大イチョウ
(中央1丁目) → p.10



城山のシダレザクラ (孝子校)
(城山西小学校内) → p.62



八幡山の楠
(八幡山公園内)



姿川第一小のフジ
(姿川第一小学校内)



赤岩山のヒカゲツツジ群落
(古賀志町)



上籠谷のフジ
(上籠谷町)



羽黒山神社夫婦杉
(関白町)

生物多様性

ことば

たくさんの種類の生きものや、生きものを取りまくさまざまな環境すべてが複雑に関わり合って存在していること。



「宇都宮市では生物多様性の大切さを知ってもらうために、どのような取り組みをしているのだろうか？」

宇都宮市の取り組み

宇都宮市では、宇都宮の生きものたちを守り、未来についでいくために、2026(令和8)年3月に「第2次うつのみや生きものつながりプラン(宇都宮市生物多様性地域計画)」を策定するなど、生物多様性の大切さについて多くの人知ってもらい、その保全に取り組んでいます。



宇都宮市が発行した『人と生きものが育みあうまちうつのみや』という冊子には生きものがへって行く原因となる「4つの危機」が書かれています。

- 1 動植物のとり過ぎや生息場所の開発・汚染による影響
- 2 雑木林などが手入れされなくなった影響
- 3 外来種などによる影響
- 4 地球温暖化などによる影響

それぞれ「4つの危機」について、自分自身と照らし合わせながら考えてみましょう。

元・栃木県立博物館職員の 林 光武さんのお話



宇都宮は、山や林、そして水田はもちろん、人が住む家の周りまで、数多くの生きものがくらすしているすばらしい地域です。この豊かな自然や生きものたちを守るために、みなさんは何をすべきだと思いますか。

わたしが大切だと考えているのは、「知る」こと、そして「よく考えて」、「できることをする」ことです。

みなさんの身近な場所に、どのような生きものが、どのようにくらすしているのか知って初めて、その生きものたちがすむ環境を守ってあげようという気持ちが生れます。そして、生きものたちもわたしたちも幸せにくらすためにはどうすればよいかよく考えて、みなさんができることを実行してもらいたいと思います。

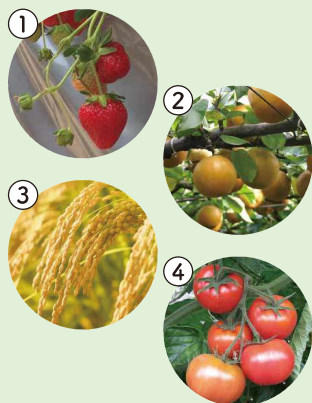
ぜひ、身近にすんでいる、目立たない小さな生きものたちにも目を向け、その生きものたちの声に耳をかたむけてあげてくださいね。

● 宇都宮の農産物 カレンダー

品目	旬の時期 (収穫期)											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
とちあいか												
いちご												
スカイベリー												
なつおとめ												
トマト												
粟水												
豊水												
にっこり												
にら												
アスパラガス												

わかるかな？

下の①～④の農産物は
何でしょう？
あてはまる農産物の名前と
番号を線で結んでみましょう。



① 梨 ② トマト ③ いちご ④ 米

- 関連する単元だよ
- 3年 → 社会 ● わたしたちのくらしと市ではたらく人たち 道徳 ● ふるさとの味を (地域教材)
 - 4年 → 社会 ● わたしたちの栃木県 理科 ● 天気と1日の気温
 - 5年 → 社会 ● くらしを支える食料生産 ● 米づくりのさかんな地域 ● これからの食料生産とわたしたち家庭 ● クッキングはじめの一步 ● 食べて元気に 外国語 ● What would you like?
 - 6年 → 家庭 ● できることを増やしてクッキング ● こんだてを工夫して

調べる

宇都宮の農産物について調べましょう。

豊かな水を生かしたお米

市内には、鬼怒川、田川、姿川が流れており、その流れにそうように米作りがさかんに行われています。

- 宇都宮では、どのような品種のお米が作られているのだろう。
- 「コシヒカリ」という品種が多く栽培されているそうだよ。
- どうして宇都宮はお米をたくさん作ることができるんだろう。



▲みやおとめ
JA うつのみやの厳選された「コシヒカリ」を集めた、宇都宮のブランド米。



▲宇都宮ブリッツェン米
城山地区の水稲生産グループ「城山水稲四石会」と「宇都宮ブリッツェン」が連携して生産しているお米。「ゆうだい21」が使われている。

4 宇都宮の農産物

つかむ
宇都宮の農産物について、話合ってみましょう。

ことば
二宮尊徳 (金次郎)
宇都宮の農業の発展に力をつけた人物の一人。尊徳が設計に関わった「宝木用水」のおかげで宝木台地にも水田を作ることができる農地が広がりました。

農業王国うつのみや

宇都宮は、豊かな水資源のもと、昔の人々の知恵や工夫により、肥沃な農地が広がるまちとなりました。現在では水稲を中心に野菜、花き、果樹などの栽培や牛の飼育など、たくさんの農産物が生産されています。

- 宇都宮の農産物で、たくさんの人たちに食べられているものには、どんなものがあるのかな？
- おいしい食べ物を作るためにどんな苦労や工夫があるのだろう。

学習問題

宇都宮の農産物には、どんなものがあるのでしょうか。

生産量日本一をほこる栃木県のいちご

宇都宮でも「とちあいか」という品種を主力として生産されています。

- 大つぶの「スカイベリー」も生産しているよ。
- よりおいしいいちごを生産するために、品種を改良したり、新しい生産方法に挑戦したりしているよ。



▲とちあいか



▲トマト

1年通して美味しいトマト

本来、夏野菜として知られるトマトですが、宇都宮では、ビニールハウスを活用しながら寒い時期でも栽培されています。



どうして夏以外の季節でもトマトを栽培しているのかな。

いろいろな品種の梨

宇都宮の梨には、いろいろな品種があり、7月から11月まで品種を変えて生産されています。



どのような品種の梨があるのかな。



宇都宮では、どれくらいの量の梨が作られているのだろう。

栃木県内一位の生産量 宇都宮のユリ

宇都宮は、1年を通して出荷できる全国でも数少ないユリの産地です。



どのような種類のユリがあるのかな。



宇都宮で生産されたユリは「ミヤリリー」というよ。



▲梨



▲ユリ

梨農家 山口幸夫さんのお話

おいしい梨を作るために、梨園の土にはとことんこだわっています。梨作りに適した土は、簡単には作ることができません。努力と工夫、それと長い時間が必要です。わたしは、さらに良い土になるように、肥料に工夫をしたり、カルシウムや微生物を使ったりするなど、工夫を重ねています。

土以外にも、新品種を栽培したり、見極めの技術が必要な「剪定」をだれにでもできるようにしたりするなど、新しい取り組みにも挑戦しています。

お客さまに、「おいしい梨だね」と言われることが何よりもうれしいことで、梨作りにやりがいを感じています。



まとめ

宇都宮の農産物について調べたことを、まとめてみましょう。



ワークシート

SDGsとの関連



農産物	農産物の特徴
お米	
いちご	
トマト	
梨	
その他	

ひるげる

宇都宮の農産物について、さらに考えてみましょう。



産(企業・農家)学(大学等)官(宇都宮市)が協力し、宇都宮の農業は発展してきました。現在では、「うつのみやアグリネットワーク」が組織され、農産物を使ったお菓子などの新商品の開発など、農業と他産業との新たな連携事業も進んでいます。

宇都宮の農産物への理解を深め、宇都宮の農業の可能性について考えてみましょう。

宇都宮の
おいしいもの、
たくさんあったね!



農業王国 うつのみや

宇都宮の農業の特徴

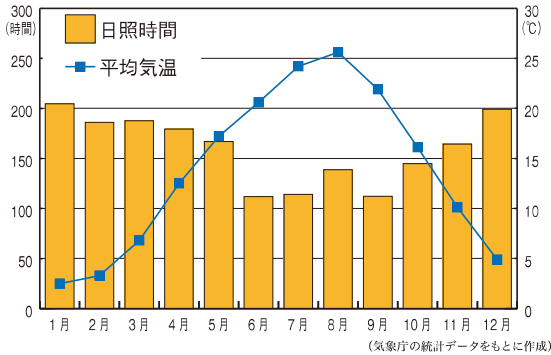
宇都宮は、耕作しやすい平らな土地が多く、植物の成長に不可欠な水資源が豊かで、日照時間も長いこと、また大消費地の東京に近く、高速道路など交通が発達している地域であることから、農産物を販売しやすいなど、良い環境が整っています。

そのため宇都宮では、米、いちご、トマト、梨などの主力の農産物のほかに、柚子など温暖地域の作物から、りんごのような寒い地域の作物まで、非常に多くの種類の農産物が生産されています。

いろいろなものが
つくられてるね。



● 宇都宮の年間平均気温と日照時間



- | | |
|----------|--------|
| ● トマト | ● 梨 |
| ● キュウリ | ● いちご |
| ● フロッコリー | ● ブドウ |
| ● ねぎ | ● りんご |
| ● アスパラガス | ● いら |
| ● しいたけ | ● タマネギ |
| ● ウメ | ● 肉用牛 |
| ● 里イモ | ● 乳用牛 |
| | ● 豚 |
| | ● 鶏卵 |



▲ 宮愉快動画館
「農業王国」のまち

いら

宇都宮では、ハウス栽培が多く、1月に旬を迎える冬型の栽培がさかんです。夏にも栽培されており、1年を通して収穫されています。



まだまだあるよ！

宇都宮の農産物



宮ゆず

柑橘類である柚子は、暖かい地域で栽培されることが多いですが、宇都宮でも新里地域を中心に栽培され、「宮ゆず」というブランド名で流通しています。寒い地域で栽培される「宮ゆず」は、皮が肉厚で香りが高いことが特徴です。

アスパラガス

宇都宮ではグリーンアスパラガスが生産されており、春先のは柔らかくあまみがあるため、新鮮なものは生でもおいしく食べられます。



新里ねぎ

宇都宮の新里地域で江戸時代から変わらぬ栽培方法で生産されている伝統野菜です。成長過程で一度土から掘り起こし、ななめに植え直すことで、独特の弓形に曲った形になります。



宮どんこ

宇都宮で生産されたしいたけのうち、傘の大きさや厚みなどの一定の基準を満たした「宮どんこ」は、香りが優れている高級しいたけです。



宇都宮牛

JAうつのみや管内で飼育された黒毛和牛で、全国10番目の銘柄牛です。どの部位も非常に良質で、脂が上品なあまみがあるのが特徴です。



新たな挑戦！

未来に向けた農業への取り組み

大谷夏いちご

— 自然をうまく生かした農業を目指して —

大谷夏いちごは、「なつおとめ」という品種のうち、宇都宮の大谷地域で栽培されたいちごのことを言います。栽培には、大谷石採掘場跡地の冷たい地下水などを地上に引き上げ、いちごの株元(くきの根元)を冷やす「クラウン冷却」という方法を用いるなど、自然のめぐみをたくみに利用した農業に挑戦しています。



不思議 ハートの形！

大谷夏いちご、その切り口にはハートの形が表れます。切り口の鮮やかな赤い色と「ハート」、そして、ほどよい酸味もあるので、国産いちごの量が少なくなる夏の時期のスイーツにぴったりのいちごです。



ICT を活用した農業

いちごやトマトなどの作物の生産現場では、ハウス内の温度や湿度、二酸化炭素などをスマートフォンで監視できる機器の導入が進んでいます。このような新しい栽培技術の活用により、現場に何度も確認に行かなくてもよくなるので、働く人の手助けになったり栽培環境を最適に保つことで、農産物をより多く生産することができます。



ゆうだい21

ゆうだい21は、宇都宮大学で開発されたお米です。コシヒカリよりも大ついで、もちもちとした独特の食感があって、冷めてもおいしいお米として注目されています。新たな品種の開発は、農業の発展には欠かせない要素の一つです。



ゆうだい21 HPから抜粋

先人の知恵や工夫

二宮尊徳と宝木用水

先人の知恵

先人の知恵とは、昔の人たちが社会や暮らしをよりよくするために生み出した知恵や工夫のことです。今のわたしたちが豊かにならることができるのは、地域の発展につくした先人たちの努力があったからです。

右上の写真には、小さな川が流れていて、「新川」とよばれています。この川は自然にできた川ではなく、今から150年以上も前に人の手によって作られた「宝木用水」なのです。この「宝木用水（新川）」と右の写真「実る稲穂」は、人々の知恵と工夫によって深く結びついているのです。



▲市内を流れる新川



▲宝木用水と実る稲の風景



▲西原新田十か村位置図

昔の宝木台地

宇都宮の西側には、宝木台地とよばれる小高い台地が、南北に長く続いています。かつて、この宝木台地には、水田を作るほどの川が流れていませんでした。そのため、草木の生いしげる原野が広がり、「西原」とよばれ、ほとんど人が住まない場所でした。

宝木台地を開く

今から300年ほど前、宇都宮藩は、「西原」を開発して、新たに田畑を作ることを考えました。この開発に大きな夢をいだいた人々がうつつり住み、力を合わせて原野を切り開き、血のにじむような苦勞をしながら、畑を広げていきました。やがて数年で、新田十か村とよばれる新しい村ができました。

人々の願い

しかし、村の名前は「新田」でも、水がなくて米を作ることができず、たいへん苦しい生活が長く続きました。「一日も早く米を作れるような用水路がほしい。」これが、人々の長い間の願いでした。村人は、名主を中心に代官所（役所）に工事を願い出たり、みんなで工事を手伝ったり、一生懸命努力したのですが、何度やってもうまくいかず、生活がますます苦しくなっていました。

水さえ引ければ米が作れる。

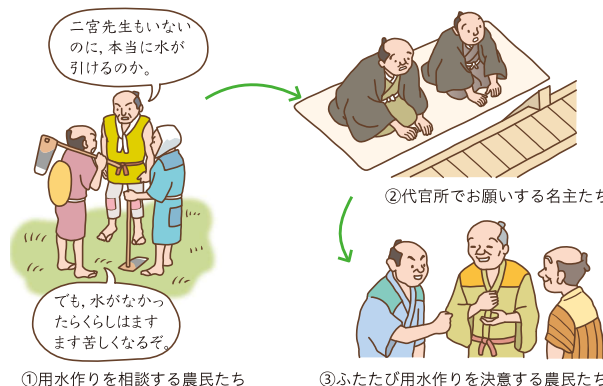
米が作れば、苦しい生活から抜け出すことができるぞ。



希望をふくらませる農民たち

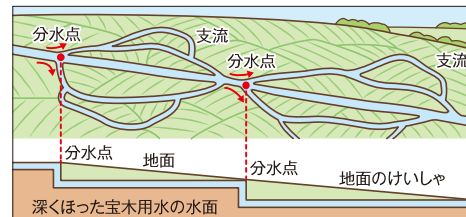
工事の課題

当時の技術では、低い土地を流れる田川から、宝木台地に水を引くことはとてもむずかしいことでした。また、工事を進めるためには、たくさんのお金も必要でした。こまった村人は、二宮尊徳に相談しました。尊徳は村人の願いを聞き入れ、宝木用水の設計図をかいてくれました。ところが、設計図をもとに、用水作りを始めようとしたとき、尊徳がなくなってしまい、工事も中止されてしまいます。しかし、村人はあきらめることなく努力を続け、尊徳の弟子である吉良八郎に工事を引きつづ約束をしてもらいました。また、苦しい生活の中からお金を出し合い、工事に参加することを固く約束しました。



夢の実現

1859年6月3日、ついに宝木用水が完成します。「西原」に初めてくわを入れてから、くじけることなく努力を重ね、190年もたって、ようやく夢が実現したのです。完成した宝木用水は、地形を生かした支流が作られ、水をむだにすることなく、かつ公平に利用できるような工夫がほどこされています。



◀宝木用水の分水の仕方

現在のすがた

そして、いつのころからか「新川」という名で親しまれるようになったこの川は、現在でも、農業用水だけではなく、雨がふったときの排水路としても大切な役割を果たしています。

二宮尊徳

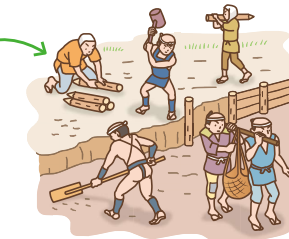


（報徳博物館提供）

1787年生まれ。江戸時代、小田原（今の神奈川県小田原市）近くの村に農民の子として生まれました。

努力と工夫がみとめられ、今の栃木県、茨城県、神奈川県などの村々の立て直しをまかされ、あれた土地を豊かな農地に変えることに成功し、後に幕府の役人になりました。

尊徳の立て直しから学んだ人たちが、各地で指導をしたり努力をしたりして、多くの地域の発展につくしていきました。



④宝木用水の工事

吉良八郎の碑（桑島町）



二宮尊徳の弟子。尊徳がなくなったあと、宝木台地に住む人々から、中止されていた用水作り再開の願いを受けて、宝木用水の完成に力をつくしました。ほかに、桑島（今の桑島町あたり）に新しい水田を開発することを指導しました。

（出典：『宝木用水（新川）物語』）